



みどりの恩恵を科学する、コース



Explore
the blessings from the forest

Morimamoru



宮崎大学 農学部 農学科

森林環境持続性科学コース

Course of Forest Environment and Sustainability Sciences

自然と人間が調和した 持続可能な社会の実現を目指して 日本のひなたで みどりを学ぶ

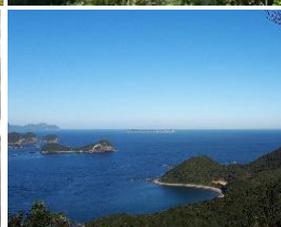


森林環境持続性科学コースとは？

私たちが生活する場所やその周辺には、たくさんの「みどり」があります。私たちは、その「みどりの恩恵」によって安全で快適な生活を送ることができています。

これまで私たちが受けてきた「みどりの恩恵」を次世代にも引き継いでいきたい。そのためには、森林・農山村・都市域を1つの連続した空間として捉え、森林や緑地の恩恵を明らかにすると共に、最適な管理手法の確立が重要です。

このコースでは、理論と技術を学び、フィールドでの実践を通して理解を深めていきます。



みどり豊かな宮崎で学ぶ

宮崎県の平均気温・日照時間・快晴日数は全国トップクラスを誇り、まさに「日本のひなた」です。そんな宮崎は古くから林業が盛んで、400年以上の歴史がある「飢肥（おび）杉」の生産で有名です。また綾町の日本最大級の照葉樹林は、平成24年にユネスコエコパークに登録されました。山だけでなく川や海も豊かで、大学近くの海辺ではサーフィンも盛んです。

世界に誇る豊かな自然や、日本で有数の林業に触れられるここ宮崎は、「みどりの恩恵」を学ぶ最高の環境です。「日本のひなた」宮崎で、一緒にみどりについて学びましょう！

SDGsの達成に向けて

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



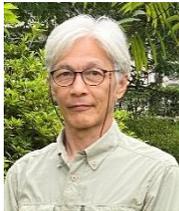
私たちの教育・研究は、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）と密接に関わっています。陸の豊かさの根源となる森林機能や生態系、気候変動問題、水やエネルギーの持続性など、森林環境持続性科学を発展させていくことで、国内のみならず国際社会共通の課題であるSDGsの達成に向けて積極的に取り組んでいます。

最先端の研究

造林学

伊藤 哲 教授
Satoshi Ito

生物多様性/人工林/
熱帯林/里山/景観
日本森林学会賞受賞



生物多様性保全学

瀬戸 美文 助教
Mifumi Seto

生物多様性/着生植物/
成立メカニズム/植生
(2026年3月着任)



森林保護学

平田 令子 教授
Ryoko Hirata

野生動物/昆虫/鳥/
森林生態系保全
日本森林学会奨励賞受賞



木本植物科学

雉子谷 佳男 教授
Yoshio Kijidani

植物ホルモン/木材/
材質/国産材利用
日本木材学会賞受賞



森林立地学

高木 正博 教授*
Masahiro Takagi

森林生態系/物質循環/
地球環境問題/水質



森林経済学

藤掛 一郎 教授
Ichiro Fujikake

人工林経営/山村/
地域林業
林業経済学会賞受賞



山地流域管理学

小柳 賢太 助教*
Kenta Koyanagi

山岳地域/自然災害/
森と川のつながり
(2025年11月着任)



水資源管理学

竹下 伸一 准教授
Shinichi Takeshita

棚田/農業用水/
スマート農業/気象
農業農村工学会優秀報文賞
受賞



森林計画学

光田 靖 教授
Yasushi Mitsuda

多面的機能/ICT/
ミツバチ/綾町
森林計画学会研究奨励賞
受賞



森林利用学

櫻井 倫 准教授
Rin Sakurai

森林機械/道づくり/
収穫システム



森林機能生態学

徳本 雄史 准教授
Yuji Tokumoto

熱帯雨林/生物季節/
生態系サービスと共生



国土管理保全学

篠原 慶規 准教授
Yoshinori Shinohara

蒸発散/ドローン/
緑を活用した防災
日本森林学会奨励賞受賞



環境材料学

中園 健文 准教授
Takefumi Nakazono

農地/食料の安定供給/
水路の生き物/緑化



国内外で高い評価を受けている教員が多数在籍しています。研究レベルでは他大学にも引けを取りません。自信があります！



*農学部附属次世代農学教育研究センター担当

人材の育成

生物多様性や生態系機能、自然環境や国土の保全、森林資源や水資源の持続可能な利用に関する広い知識を修得し、自然と人間が調和した社会の実現に寄与できる人材を育てます。



教員情報



PICK UP CLASSES

自然との共生、生物多様性保全、持続可能な社会の実現を目指し、そのために必要な知識と技術を学びます。実習や研究を通して、実践的な力を身につけます。

CLASS 1 農学基礎実験・実習Ⅰ・Ⅱ

本コースでは、宮崎大学農学部田野フィールドをはじめとする県内各地に足を運び、森林生態系、生物多様性、防災、農山村の暮らしなどについて学びます。ここで得た知識はもちろん、実際に見て聞いて感じたことが、2年生以降の実習や講義に活かされます。

ほか 森林環境持続性科学概論、環境気象学、環境計測学、基礎環境資源経済学、景観生態学など



CLASS 2 景観生態学

森林・農村・水辺・海辺・都市の景観生態について学びます。学んだことは景観のプランニングとデザイン、自然再生や緑化技術などへ応用できます。ユネスコエコパークなどの実例の解説も盛りだくさんです！

ほか 木本植物組織学、木本植物組織学実験、森林生態学、環境防災学、樹木学、森林計測学、森林経済学、砂防学、構造力学、土質力学、樹木生態生理学、森林計測学実習、樹木学実習など

CLASS 3 造林学実験実習

苗の植栽や間伐などの森林・樹木管理技術を実際のフィールドで学びます。また、種子の品質鑑定や土壌分析、樹木の成長解析などの技術も室内実験を通して身に付け、授業の内容に関する理解を深めます。皆さんが実習で植栽する樹木が、実際に次世代の森林を担っていきますよ！

ほか 水理学、造林学、環境材料学演習、森林資源利用科学、森林利用学、農山村環境計画学、森林政策学、応用力学・水理学、植生調査実習、森林保護学、森林計画学、水資源管理学、など



CLASS 4 卒業研究

研究室の指導教員の指導の下、文献調査や実験・実地調査、研究室ゼミなどを通して、卒業研究に取り組みます。教員の専門分野は非常に多岐にわたっています。皆さんの学びたいこと、研究したいこと、きっと見つかるはずです。

NEW CLASS!!



最新の「ドローン」や「AI」も学べます！

「環境空間情報学」では、最新の森林や国土管理技術について、ドローンを使って実践的に学んでいきます。これからの時代に役立つ最新の知識・技能を実践的に学べます。



講義情報



多様な連携先

宮崎大学では、100以上の海外の大学と学術や学生交流に関する協定を結んでおり、交換留学も可能です。学科主体の協定先では、専門を生かした留学が可能です。また、農学部及び森林環境持続性科学コースでは、様々な行政機関等と連携協定を結んでおり、社会と連携した教育・研究を実施しています。

行政機関等の協定先

[コースと関係の深いもの]

農林水産省 九州農政局
林野庁 九州森林管理局
国立研究開発法人
森林研究・整備機構森林総合研究所
九州支所
宮崎県 林業技術センター
宮崎県 木材利用技術センター

海外の大学の協定先

[コースと関係の深いもの]

チェコ メンデル大学 林業・木材学部
台湾 国立台湾大学
森林環境・資源学科

[大学・学部が主体となっているもの]

アメリカ カリフォルニア大学
アーバイン校・デービス校 ほか多数



進路情報

多くの学生が専門をいかして就職します。大学院に進学し、より高度な専門職・研究職につく学生もいます。森林や農業土木の分野は人材が足りていません！本コースで学んだ学生の活躍の場は広がっています。

充実した就職支援

このコースでは毎年、独自の公務員説明会・民間企業説明会を実施しています。また、コースのカリキュラムは公務員試験の専門試験に対応しています。公務員予備校に通わずに、公務員試験に合格する学生も多いです。



主な就職先、進学先

(森林緑地環境科学科のこれまでの実績)

公務員 (主に林業職、農業土木職、土木職)

農林水産省、林野庁、宮崎県庁、福岡県庁、大分県庁、長崎県庁、熊本県庁、鹿児島県庁、山口県庁、広島県庁、岡山県庁、愛媛県庁、兵庫県庁、愛知県庁 ほか

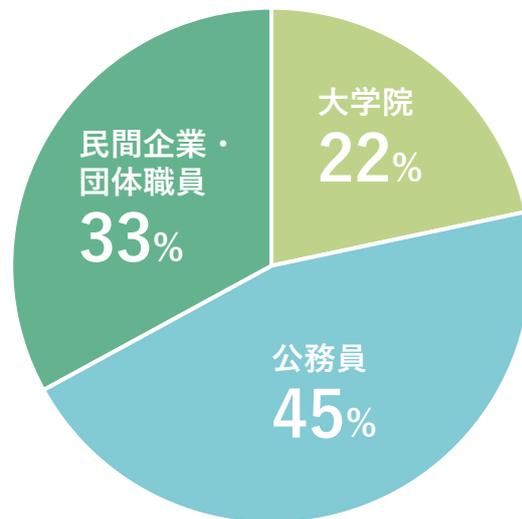
民間企業・団体職員

森林組合、積水ハウス、住友林業フォレストサービス、国土防災技術、国土緑化、平田ナーセリー、外山木材、九州土木設計コンサルタント、日本工営、ダイヤコンサルタント、オオバ、若鈴コンサルタント、日本国土開発、NTCコンサルタンツ、宮崎銀行、宮崎太陽銀行、豊田通商 ほか

(大学院修了後：王子ホールディングス、日本製紙、アジア航測 ほか)

大学院進学

宮崎大学大学院、九州大学大学院、筑波大学大学院、兵庫県立大学大学院、名古屋大学大学院 ほか



※ 森林緑地環境科学科
令和5~6年度実績



資格情報



就職情報



入試情報

総合型
選抜入試
共通テストを
課す/課さない

学校推薦型
選抜入試
共通テストを
課さない

一般選抜
前期入試

一般選抜
後期入試

総合型選抜入試は共通テストを課すものと課さないものがあります。
学校推薦型選抜入試に共通テストは課しません。
この他、帰国生徒選抜入試、社会人選抜入試等があります。

※入試に関しては必ず最新の募集要項をご確認ください。

Q&A

よくある疑問・質問にお答えします！

Q.森林環境持続性科学コースでは何が学べますか？

A. 「みどりの恩恵」について様々な角度から学べます。専門的な知識はもちろんのこと、情報を分析し論理的に考え表現する力、主体的に学び課題を発見・解決する力など、これからの社会の発展に必要なとされる能力が身につきます。

Q.森林の知識は社会でどのように役立ちますか？

A. 森林は、地球環境問題、生物多様性保全、防災など、社会的問題と密接に関わっています。これらは今後の私たちの暮らしを左右する世界共通の重要課題であり、これらの問題解決に貢献できる人材が社会から求められています。

Q.資格・免許は取得できますか？

A. 高等学校教諭一種（理科、農業）、学芸員、測量士補、樹木医補、自然再生士補、森林情報士2級などの資格取得が可能です。

Q.海外研修はありますか？留学は？

A. はい、あります。ヨーロッパで森林研修を行っています。留学先で、単位取得が可能な大学もあります。また、留学生が多い研究室に入れば、様々な国の学生と交流できます。

Q.大変なことはありますか？

A. 実習やレポートは決して楽ではありません。ただ、その分「本物の力」が身につきます。

Q.森や水、自然がとにかく大好き！それだけでも大丈夫ですか？

A. 大歓迎です！総合型選抜入試も実施していますので、是非受験してください。各教科の勉強だけでなく、課題を探求する意欲、様々な意見を聞きながら解決を図る態度を、今から少しずつ身につけてもらえたらと思います。そして内緒ですが、自然を「好き」で終わらせてしまうのはすごくもったいないです。科学の力で自然を「理解」することこそ、面白いのですよ！

Q.高校では物理選択ですが大学の勉強についていけますか？

A. 大丈夫です。生物や物理など、高校で学んでいない科目についても、しっかりと基礎知識を身につけてから専門科目を学ぶカリキュラムになっています。

Q.研究者を目指せますか？

A. もちろんです。博士課程まで指導可能な教員が多く、研究者になるための専門的な研究指導も行っています。研究者を目指す皆さんをお待ちしています！

Q.コースの雰囲気を教えてください。

A. アットホームな雰囲気です。1年生から実験・実習も多く、友達も作りやすい環境です。各学年2名の担任が、みなさんのキャンパスライフをサポートします。

森林資源の活用や保護、生物多様性や生態系及び水や土を含む環境の保全を通して、自然と人間が調和した持続可能な社会の実現を目指します。
教育では、DXを実現する最新技術を活用することで、就職後も役立つ実践力を養います。
宮崎の豊かな森林、自然環境を活かした実習も行います。
地域的課題からSDGsの実現などの世界的課題の解決まで、学生の皆さんと共に取り組んでいきます。

宮崎大学 農学部 農学科
森林環境持続性科学コース



コースHP

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1

TEL: 0985-58-3834 (教務・学生支援係)

掲載データ：2026年4月現在の情報